

〈各チーム、関係者向〉

少年野球大会開催・参加の 新型コロナウイルス感染症対策

IBA-boys



大会参加時の予防策

★規律を守った行動が家族や仲間を守ることに繋がります!

1. チーム集合前の自宅での取り組み
2. チーム集合時の取り組み
3. 移動時の取り組み(自宅→球場間、チーム遠征時)
4. 球場到着時の取り組み
5. 球場でのチーム活動中(試合前後練習、試合中)の取り組み
6. 主催者側の取り組み
7. 遠征先から出発する際の取り組み
8. 集合場所へ戻った際の取り組み
9. 解散時の取り組み
10. 自宅到着時の取り組み

1.チーム集合前(自宅)

- ◆ 体温は1日に2回(朝、夕)測らせてください。**37.5度以上の熱咳、倦怠感の症状**がある場合は、必ずチーム責任者に申し出さずしてチーム活動には参加しない。



- ◆ 各家庭で検討し、保護者同意の上、チーム活動に参加させてください。
- ◆ 37.5度前後の熱や、咳、倦怠感の症状の場合は参加を自粛させてください。

2. チーム集合時

選手	チーム関係者、保護者の方々
<ul style="list-style-type: none">▶ 移動中はマスク着用を心がける。▶ 電車移動は極力控え、やむを得ず利用する場合は人と対面しないように指導してください。	<ul style="list-style-type: none">▶ チーム関係者、保護者の方はマスク着用の徹底をさせてください。▶ 選手がアルコール消毒する際は、大人の方が選手に対してアルコール消毒液の適量を指導してください。▶ 乗用車移動の場合は運転手のマスク着用を徹底させてください。又、乗車前のアルコール消毒液の噴霧や窓を開けての換気を必ず実施してください。

※チームで非接触体温計を準備してチーム関係者の健康状態を確認することが望ましい。
※検温を実施した後、所定のチェックシートに記入してください。(全選手・指導者分)

3. 移動時(チーム遠征時)

移動手段	乗車前	乗車時	走行中
バス	<ul style="list-style-type: none">▶手洗い、うがいの励行。▶乗車前の車内換気・アルコール消毒▶マスクをした保護者が選手手指アルコール消毒の適量指導。▶乗車者全員のマスク着用。	<ul style="list-style-type: none">▶座席に余裕があれば、間隔をあけて座る。	<ul style="list-style-type: none">▶窓を開けて、十分な換気を行う。▶対面して話さない。▶他人の物には触らない。▶飲料は各自の物を飲む。
乗用車	<ul style="list-style-type: none">▶手洗い、うがいの励行。▶乗車前の車内換気・アルコール消毒▶マスクをした保護者が選手の手指アルコール消毒の適量指導。▶乗車者全員のマスク着用。▶帯同保護者人数は最小限にとどめる。	<ul style="list-style-type: none">▶極力密着しないようにする。	<ul style="list-style-type: none">▶窓を開けて、十分な換気を行う。▶対面で人と話さない。▶他人の物には触らない。▶飲料は各自の物を飲む。

※当日使用するバス・乗用車は、使用前に必ず換気・アルコール消毒液の噴霧を徹底。
帯同保護者は必要最低限に止める。

4. 球場到着時

	取り組み
遠征チーム	<ul style="list-style-type: none">▶ 手洗い、うがいを徹底させてください。 ⇒ アルコール消毒液が無い場合はハンドソープで可。▶ 全選手、スタッフ、帯同保護者の体調を確認してください。 ⇒ 発熱、咳や倦怠感の症状が出現した場合、チーム関係者、保護者は球場への立ち入りを禁止とします。▶ 記入したチェックシートを大会本部に提出する。(チェックシート用紙添付)
主催側	<ul style="list-style-type: none">▶ 手洗い、うがいの呼びかけ ⇒ アルコール消毒液を用意(ハンドソープでも可)▶ グラウンド来場者全員(全選手・保護者(遠征チーム含む))の検温確認を実施。37.5度以上の熱、咳、倦怠感の症状がある方は球場への立ち入りを禁止とします。▶ 協会関係者及び保護者はマスクの着用を徹底。

※チームで非接触体温計を準備してチーム関係者の健康状態を確認することが望ましい。

5. チーム活動中（試合前後練習、試合中）

グラウンド外にいる大会関係者・保護者は全員マスクの着用を義務付ける。
（審判団についても、試合中もマスクの着用を義務付ける）

活動内容	取り組み
練習、試合中	<ul style="list-style-type: none">▶ 審判員は球審、塁審共に全員マスク着用とする。▶ 帯同保護者もマスク着用を義務付ける。▶ 試合前・終了時のホーム前集合は両キャプテンのみで、選手は距離をあけてベンチ前整列。▶ 攻守交替は守備側チームがファールラインを越えてから攻撃していたチームが守備につく。▶ 試合観戦の際は、隣と1m以上離れ、対面はしないよう指導してください。可能であれば、観戦場所のマーキングがされていると好ましい。 大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等は控える。▶ 体調不良が出現した場合は、チーム関係者に申し出させてください。▶ チーム道具の共有は極力避け、専用化してください。難しければ、使用の都度、除菌シート等を使用してください。▶ 飲料用カップ、タオルの共同利用、共同保管は禁止。▶ 唾や痰を吐く行為は厳禁とする。▶ ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。▶ ハイタッチ、グータッチは行わない。
昼食時	<ul style="list-style-type: none">▶ 昼食前後の手洗い、アルコール消毒、うがいの徹底。▶ 極力密着・対面は避け、換気の良い場所で昼食をとるよう指導する
トイレ使用时	<ul style="list-style-type: none">▶ 使用後は手洗い、アルコール消毒を徹底させてください。

6. 主催側の取り組み

設営等	準備・対応
検温場所の確保	会場到着時に全選手・指導者・スタッフ・帯同保護者の検温実施
チーム受付場所	人と人が対面する場所(受付等)に透明ビニールカーテンを設置する。参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する。
トイレ	トイレ内のドアノブ、水洗トイレのレバー等はこまめに消毒する。 ハンドソープ、アルコール消毒液の準備及び洗浄箇所の設置、 「蓋をして流す」、「手洗いは30秒以上」の掲示
手洗い場	ハンドソープ、アルコール消毒液の準備及び洗浄箇所の設置、 マイタオルの持参を要請、 「手洗いは30秒以上」の掲示
参加チーム待機所	可能な限り、他チームとは最低2mの間隔を空け、加えて選手間 は最低1m以上の間隔を取り、荷物を置かせてください
放送設備	アルコール消毒⇒交代時は必ずアルコール消毒を実施 マイクの受け渡しの際はアルコール消毒を行う
マスク	関係者は全員マスクの着用を徹底 受付時にマスクを用意(マスクの着用を忘れた場合)

※チーム内および大会において、感染者が発生した場合は、**大会を即中止**とする。

7. 大会会場、遠征先から出発する際

移動手段	乗車前	乗車時	走行中
バス	<ul style="list-style-type: none">▶手洗い、うがいの励行。▶乗車前の車内換気・アルコール消毒▶マスクをした保護者が選手の手指アルコール消毒の適量指導。▶乗車者全員のマスク着用。	<ul style="list-style-type: none">▶座席に余裕があれば、間隔をあけて座る。	<ul style="list-style-type: none">▶窓を開けて、十分な換気を行う。▶対面して話さない。▶他人の物には触らない。▶飲料は各自の物を飲む。
乗用車	<ul style="list-style-type: none">▶手洗い、うがいの励行。▶乗車前の車内換気・アルコール消毒▶マスクをした保護者が選手の手指アルコール消毒の適量指導。▶乗車者全員のマスク着用。▶帯同保護者人数は最小限にとどめる。	<ul style="list-style-type: none">▶極力密着しないようにする。	<ul style="list-style-type: none">▶窓を開けて、十分な換気を行う。▶対面で人と話さない。▶他人の物には触らない。▶飲料は各自の物を飲む。

※当日使用するバス・乗用車は、使用前に必ず換気・アルコール消毒を徹底。
帯同保護者は必要最低限に止める。

8. 集合場所へ戻った際の取り組み

- ▶ 全選手、保護者の体調確認。
- ▶ 万が一、発熱や激しい咳が出るなどの症状が出現した場合、直ちにチーム責任者に申し出ること。チーム責任者は当該選手付近に居た選手、保護者の名前を確認。
→ 濃厚接触の感染ルートをたどる。
- ▶ 病院での検査を指示。
- ▶ チーム道具使用後のアルコール消毒を徹底。

9. 解散時に以下の項目を指示

自宅到着の際にうがい・手洗いを行い、アルコール消毒の徹底、検温を必ず実施するように指示。

チーム解散時の注意事項

- ▶ 移動中は**マスクを着用**してください。
- ▶ 自転車で移動する場合も**マスクを着用**してください。
- ▶ 乗用車で移動する場合は**運転手のマスク着用**を徹底してください。
車内は**窓を開けて換気**を行いましょう。
- ▶ 電車移動は極力控え、やむを得ない場合は**人と対面しないように**心掛けましょう。

10. 自宅到着後

自宅到着後に体温を測ってください。又、以下の症状の確認をしてください。

- ▶ 37.5度前後の熱
- ▶ 激しい咳
- ▶ 息苦しい
- ▶ 頭痛
- ▶ 倦怠感(体のだるさ)

上記の症状が出た場合は、直ちに病院に行き、医師の指示に従ってください。

万が一、感染が判明した場合、チーム責任者に報告してください。

チーム責任者は協会事務局に連絡願います。

なお、チーム内に感染が疑われる者が発生した場合、又は濃厚接触が判明した場合もチーム責任者を通じてIBA協会事務局まで連絡願います。

IBA協会事務局は関係機関に報告をする。

非接触体温計のサンプル

- ① 1s高速検温発熱警告 現物発送非接触式体温計
赤外線紫外線赤外線温度計 温度計ハンドヘルド
amazon 価格 ¥9,905



- ② 赤外線温度計 非接触型 バックライト対応電子温度計
デジタル 即時計測 amazon 価格 ¥7,900



- ③ 非接触体温計 額1秒高速温度測定LCDバックライト
ディスプレイ付き 赤外線体温計 amazon価格 ¥4,999





IBA-boys